

2016年3月20日(日) -26日(土)  
アンナプルナ&ダウラギリ展望トレッキング(3)  
トレッキングコース後半編  
文と写真 by 根岸

3月18日(金曜日)から11日間、ネパールアンナプルナ裏銀座ルート(アンナプルナ&ダウラギリ展望トレッキング)に参加した。このレポートは、「ネパール・ツアー概要編」と「トレッキングコース(前半)」に続いて「トレッキングコース(後半)」を紹介します。

トレッキングの後半は「裏銀座ルート」と名付けられた3000mを越えたルートで、西遊旅行(日本人客にとって)で初めて実施されたコースである。最もポピュラーな表銀座ルートは、タダパニ(2640m)からゴラパニ(2750m)まで行き眺望の有名な地点(ローンヒル)まで行く周遊ハイキングと名付けられている。

3月22日(火)：トレッキング3日目



トレッキング3日目は、シャクナゲの樹林帯を行き、バイシカルカ(3450m)まで登る6時間の予定である。実際の宿は、Baile(3432m)に位置していた。

4日目は、今回の目的地コプラダンダ(3660m)まで尾根道を約6時間辿る。

ここから裏銀座ルートである。



タダパニ(2640m)から、徐々に高度が上がり、アンナプルナサウスが見え隠れした。

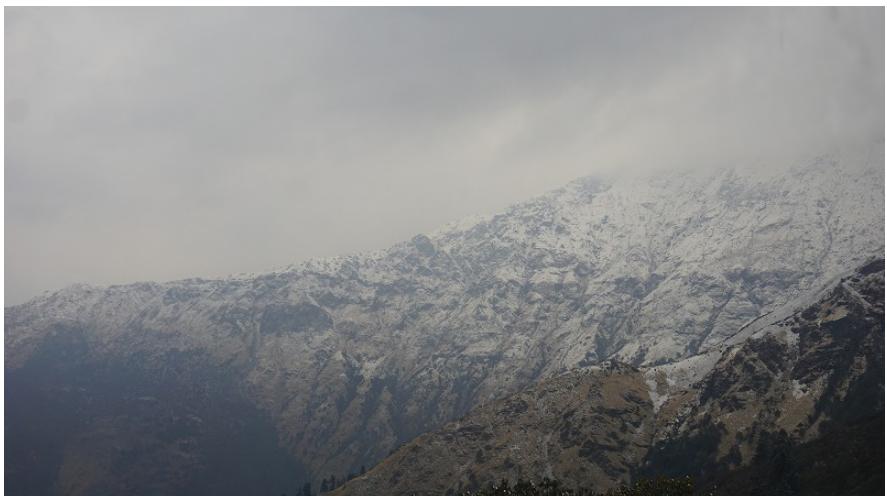
本日の朝から、高山病対策で「パルスオキシメータ」による脈拍と動脈中の酸素飽和度(SpO2)を測定開始した。東京ではSpO2が92だったが、今朝は80まで下がった。70を切ると危険だそうだ。



高度が 3000m を越えると、樹木が小さくなり、シャクナゲの花が色濃く見えだす。



更に 3000mを越えると、ところどころで残雪が見えだした。



バイシカルカ（実際は Bayeli）3450m に 15 時過ぎに着いたころには、雪が降ってきた。雲が立ち込め、景色を写真にとることは出来なかった。動脈中の酸素飽和度（SpO<sub>2</sub>）を夜測ったが 79 だった。脈拍は何時もより早い。女性陣はダイヤモックス（高山病予防薬）の処方を受けてきた方が居た。

3月 23 日（火）： トレッキング 4 日目



翌朝は、晴天に恵まれた。今まで見えなかったダウラギリⅠ峰(8167m)から5峰がくっきり見えた。



ダウラギリをバックに、ツアー参加の日本人8名とコック、ガイド達で記念写真。2cm位雪が積もった。



更に、良い展望を求めて200m登り、最終目的地コプラダンダを目指した。この日の歩きは、5時間ほどだったが、さすがに3000mでのアップダウンの激しい地形に苦労した。特に、雪が残る下りの岩場には神経を使った。この時は写真を撮っている余裕がなかった。



14 時過ぎ、目的地のコプラダンダ（3660m）に到着した。



ダウラギリ I 峰（8167m）がより近く見えた。



アンナプルナサウス(7219 m)の晴れ姿である。





こちらが、アンナプルナ I 峰(8091m)の後ろ姿である。エルゾーグらが登頂した時の BC は裏側にある。

3月 24 日 (木) : トレッキング 5 日目

コプラダンダ(3660m)宿泊



翌朝は、快晴だった。朝の測定では、動脈中の酸素飽和度 ( $\text{SpO}_2$ ) は 79 だった。階段で右太ももの肉離れを起こしたので、大事を取ってロッジで過ごすことにした。バンテリンと湿布を併用した。  
のんびりして居ると、ヤクが上がってきた。



ダウラギリ山系を望んで、ロッジで記念撮影。



こちらは、アンナプルナⅠ峰を真ん中にして、ポーターと記念撮影。



真ん中は、アンナプルナ・ファン(7647m)と思われる。



トレッカーとアンナプルナⅠ峰、サウスの遠景。霧が出始め、午後には雲ってしまった。  
夜の測定では、動脈中の酸素飽和度(SpO<sub>2</sub>)は72で最低を記録した。  
お酒(ウイスキー)は自重した。  
携帯電話が故障して操作が出来なかつた。もともと電波が弱かつたが、残念であった。

3月25日（金）：トレッキング6日目



6日目朝、日本人ツアーメンバー7名と、現地ガイド、コックたちと記念撮影。背景はダウラギリである。

この日は、シーカ（1935m）まで約7時間で一気に1700m以上下る。朝の測定で、動脈中の酸素飽和度（SpO<sub>2</sub>）は79だった。



前の晩は、ノルウェイ、オーストラリアのツアー客でロッジが一杯だった。トイレタイムが十分とれない。予定通り、8時に出発した。少し降ったところで、ヤクがお見送りしてくれた。



シャクナゲとジンチョウゲに似た白い花が有った。少し匂いも有った。



丁度、12時に昼食場所のアルカルカに着く。やっと落ち着いてトイレタイムが取れた。

その後、2時間でスワンタ、更に2時間で宿泊地シーカに17時ごろ到着した。



シーカの宿（1935m）で、夕食後にビールや現地焼酎ロキシーでお別れ会を開催した。現地スタッフが中心で踊りを踊ってトレッキング無事終了を祝った。

### 3月26日（土）トレッキング7日目（最終日）



最終日は、シーカ（1935m）から、バスの待つタトパニ（1190m）まで約3時間下った。タト（熱い）パニ（水）の意味である。



タトパニは温泉が湧いていた。現地の人は、水着姿で入っていたが、われわれは足湯を楽しんだ。  
100rp=1\$の入浴料。



帰りのバスは、トラブルの連続であった。ラジエターが沸騰し坂道を登り切れずバス車両交換1回、パンク1回で、12時半ごろ出発して何とかボカラに17時半ごろ到着した。

(2016年4月9日作成)